



あすなる



新しい年を迎えて

校長 鈴木 華奈子



昨年末、学校に門松が届きました。門松の青々とした松の葉のように、新しい1年も子どもたちに生き生きとした笑顔と幸せが満ちるよう願いました。

「よいお年を」

“よい年”にと願うのはどんなことでしょう。

健康・家庭・仕事に続き、最後に“幸せな1年になりますように”と願うことが多かったように思います。

先日、知人から、“幸せ”について考えさせられたと、ある本の紹介を受けました。それは、ある国の絵画に感動し、絵描きになるため、その国に渡り修業した人の話でした。その人は絵だけではなく“幸せとは何か”“どうしたら人は幸せになれるのか”についてみんなから教わり、変わっていきます。



幸せは、ものやお金、便利さ、効率ではなく、空を見上げること、ご飯を食べられること、ただいまと言うとお帰りと返す人がいることなどに喜び、その喜びを存分に表現できる自分になれることだとこの人は実感していきます。

このことは、普段の“当たり前”（人とのつながり、自然、自分）を喜び、喜びあえることの大切さを示しているように思いました。

令和6年元旦、能登半島地震が発生しました。大切な方をなくされた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

長く余震が続き、いまだに緊張感が続く中ではありますが、3学期の教育活動を開始することとなります。子どもたちの安全・安心を確保できるよう精一杯努めながら、“当たり前”を大切に1日1日進めてまいります。

2 学期学校評価～重点課題の成果と課題～

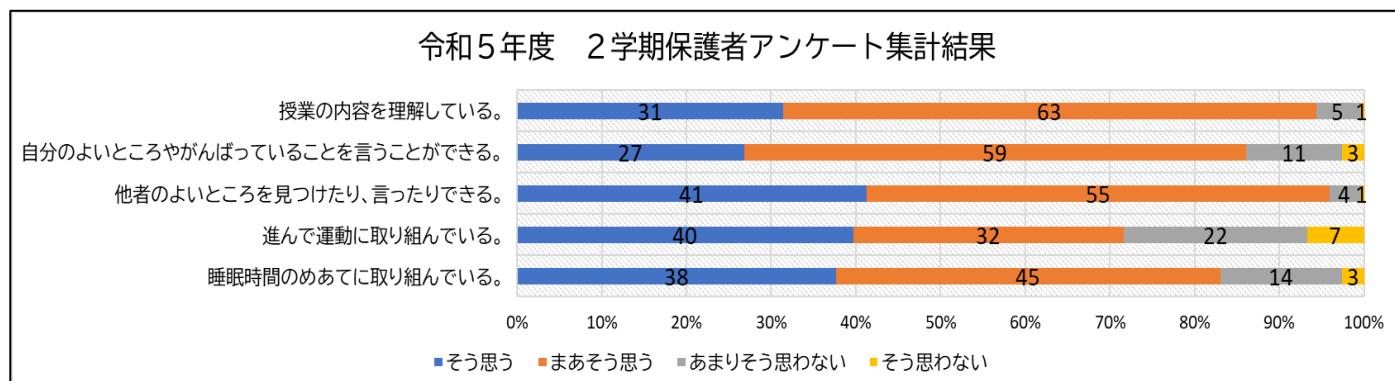
「学力の向上」「豊かな心の育成」「体力の向上」の3つの重点課題について、2学期の取組をふりかえり、成果と課題をまとめました。課題の克服に向け、3学期も取組を進めていきます。

重点課題	成 果	課 題
学力の向上	<p>自分の学びを振り返る際の視点をまとめた共通の掲示物を活用したことで、これまでの学びを振り返りやすくなり、一定の文量が書ける児童が増えました。</p> <p>また、自分の考えを話したり、人の考えを代替して話したり、友達と考えをつないで話したりするなど、話す場の確保や話し方の工夫をしたことで話す力も付いてきました。</p>	<p>振り返りの際、一定の文量は書けるものの、自分の考えが変わったきっかけや学び方などを客観的に振り返ることは、まだ難しいようです。モデル文やキーワードを示し、具体的な記述となるようにしていきます。</p> <p>話すことについては、一部の児童の発言で授業が進んでいく場面もありました。時間を確保したり、掲示物を活用したりしながら話す力も育てていきます。</p>
	<p>宿題と自主学習に取り組む家庭学習の習慣がほとんどの児童に定着しています。</p> <p>また、習熟の時間を確保することや、算数を中心として学習支援員による個別指導を行い補充していることで、テストの正答率は全体的に向上傾向にあります。</p>	<p>全体的にはよい傾向ですが、学習内容や学年によって、正答率が低い問題があります。特に、漢字や四則演算（$+$$-$$\times$$\div$）などの基本的な計算の間違いや、文章を正しく読めないことによるつまずきが見られます。習熟に向けて指導改善を行っていきます。</p>
豊かな心の育成	<p>授業や行事など様々な活動を通して、達成感や成就感を感じたり、自分のがんばりやよさを振り返る場を設定したりすることで、自己肯定感が高まってきました。</p> <p>また、他者（友達や教師）からのプラス面の評価をもらうことで、再度自分を見つめ自分のよさを改めて感じる姿が見られるようになってきました。</p>	<p>自分のよいところやがんばっているところが言えない児童が約 16%います。一人一人が活躍する場や認められる場をつくったり、児童同士のつながりを深める活動を行ったりして、お互いのよさを認め合う人間関係を育てていきます。</p> <p>また、普段の生活からも子どもたちのよさを積極的に伝えていきます。</p>
	<p>各クラスが、友達のよいところを伝える活動を意図的に行うことで、友達のよさに目を向け、それを具体的に伝えることができるようになってきました。</p> <p>また、様々な行事の前後に、異学年が交流する機会を計画的に設定しました。交流後は班の仲間のよいところをカードに書き、「あすなろの木」に貼ったり、お昼の放送で紹介したりしました。</p>	<p>友達のよさを伝え合う活動をどのクラスでも行っていますが、その活動がマンネリ化しないように、新しい取組を取り入れたり、工夫したりしていきます。</p> <p>また、あすなろ班での活動を計画的に設定し、交流の機会を大切にしていくとともに、活動後は班の仲間のよいところやがんばったところを伝え合う機会を設定します。</p>
体力の向上	<p>よりよい動きにするための工夫を考えたり、友達と話し合ったりする場を設定しました。自分の動きの課題を解決するために、ICT 機器などを用いて自ら考えたり友達と工夫したりしながら、よりよい動きを目指すことができました。</p>	<p>すべての学級で ICT 機器を活用した体育の授業を行いました。考える時間と運動量の確保を両立させることが重要です。自分の動きを客観的に見たり動きのポイントを確認したりできる ICT 機器を有効に取り入れ、楽しく運動できる授業を行っていきます。</p>
	<p>2 回目のげんきアップ週間の結果は、3 項目とも 1 回目より平均点がアップしました。</p> <p>自分の生活を振り返り、睡眠やメディアコントロールなどについて見直したことで、自分の睡眠時間のめあてを達成しようと進んで取り組むことができました。</p>	<p>「お家のルール」の内容に個人差が大きく、自分の生活をなかなか改善できない児童がいました。自分の生活を振り返る時間を大切にし、「お家のルール」と「学習の時間」「睡眠時間」を考えることができるように、今後も事前指導に力を入れていきます。</p>

保護者アンケートありがとうございました

2学期末の保護者アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。たくさんの貴重なご意見をいただきました。今後の教育活動に生かしていきます。

【2学期保護者アンケート集計結果】



全体的に肯定的評価を多くいただきました。一方で、「授業理解」や「自己理解・他者理解」に関しては、個別指導や聞き取りなど、子どもたちに対して丁寧に寄り添うことの重要性を再確認しました。「睡眠時間」については、適切な睡眠時間の確保に向けた意識の高まりが見られます。引き続き取組を行っていきますので、ご協力をお願いいたします。

【自由記述から】

自由記述では、学校の取組に対する意見・要望をいただきました。紙面の関係で、すべての意見・要望に対して回答できませんが、全体に関わる事柄について、以下のとおり回答いたします。

給食を終業式まで出してほしい。弁当を持たせて通学させると荷物が多くて、雨の日だと傘があり非常に通学するには危険。極力荷物を減らしたい。

⇒学校としては、職員が学期末の様々な業務に対応する時間を確保するため、終業式の日には授業3限で下校としています。児童館に行く場合など、弁当を持たせたとしても荷物が多くならないように、学用品を計画的に持ち帰らせるなど、終業式当日の持ち物を減らすようにしていきます。

運動会などの最後のダンスをせっかくなら燕ばやしなどの、地元の踊りにしたらいいと思う。祭りがあっても踊れないし分からないようなので、伝統を大切にしてほしい。

⇒運動会のダンスについては、1学期末のアンケートでもご意見をいただきました。来年度の運動会に向けて検討していきます。

「げんきアップ週間」の時は、普段より時間を意識して過ごしているように感じる。開催期間や、回数を増やしてほしい。

⇒「げんきアップ週間」へのご協力ありがとうございます。子どもたちや保護者の皆様にも取組が浸透してきていると感じます。開催期間や回数も含め、「げんきアップ週間」ではない時期でも睡眠時間に対する意識を高められるよう、対応を検討していきます。

地域子ども会の連絡を、メールで一斉送信はできないか？

⇒現在、配信をおこなっている「マチコミメール」は、あくまで学校や教育委員会からの情報発信ツールとして使っています。地域の子どもの会行事などの連絡については、「LINEグループを作っている」「地域の方が文書をつくり、学校で配付している」などの対応をとっている地域がありますので、ご参考になさってください。

PTA主催の窓ふきについて、汚れたまま参観するより、窓ふき後にすぐ帰れたほうがよいので、授業参観前より後の方がよかった。または、涼しい時期に実施できるとよい。

⇒PTA窓ふきにご参加いただきありがとうございました。PTA生活指導部・会長団の皆さんに伝え、開催方法や時期について検討していただきます。

- ・ 10月の水泳授業について、プールは温水でも、終わったあとに髪の毛が濡れたまま過ごすのでとても寒いようだ。体調を崩す子が多い季節でもあるので、もう少し時期を早められないか。

⇒水泳授業については、民間のプール施設を使う学校が増えており、送迎用のマイクロバスの手配も含めて燕市教育委員会を通じて調整しています。もう少し早い時期を希望していますが、来年度も10月の実施になりそうです。着替えた後の寒さ対策など、子どもたちへの声掛けを徹底していきます。

- ・ あすなろフェスティバルは、授業参観と同日に開催してほしい。
- ・ PTAの会長団の方が、赤門祭の後にイベントを考えてやっていただいて、子どもも楽しかったようだ。以前のような赤門祭は難しいのかもしれないが、限られた中で子どもたちも楽しめる行事になるとよい。あすなろフェスティバルにPTA有志を募って何かやるなどができるとよいのでは。

⇒今年度のあすなろフェスティバルは4年ぶりの出店形式としました。たくさんの保護者の方にもご来場いただき、ありがとうございました。来年度の開催計画については、学校やPTA会長団の皆さんと検討していきます。

下校時刻のころ、幼稚園の公衆電話あたりの細い道の角に路上駐車をしている車があるが、道が細いため、大きい車が通れなくなる。参観日や懇談会などの際、幼稚園の迎え時間に重なると奥の駐車場に行けなくて困っている保護者を見かける。駐車場についてお便りを出す際に、その場所も加えるか、簡易的な看板を柵に設置するか何か対策していただきたい。介護施設の車や運送トラックも通れなくて困っていたようだ。

⇒地域の安全にご配慮いただき、ありがとうございます。学校では児童の送迎に関わって案内を配付していますが、路上駐車はなさないように引き続き注意喚起を行っていきます。保護者の皆様も、児童の送迎に来られる際、路上駐車をしないように声を掛け合っていただければ幸いです。ご協力よろしく願いいたします。

二次元コードが記載されているプリントは濃いめでお願いしたい。薄いと読み取りにくい。

⇒印刷の際、注意します。

感染症の影響なのか時代の影響なのか、何かに取り組むという事がとても短時間で簡素化されている気がする。子どもたちを見ているとやりきった達成感を味わえているのか、正直分からない。これからも子どもたちが思いっきり取り組んでたくさんの思い出が作れるようお願いしたい。

⇒感染症対応や職員の業務の見直しなどにより、以前より取組が簡素化されたものがいくつかあります。限られた中で、子どもたちが充実感を感じながら成長していけるように、今後も取組を工夫していきます。

持久走記録会で他学年と一緒に走ったが、自分の子どもを探しやすくするため、赤白帽子の色を学年で分けてほしい。

⇒来年度の開催に向け、検討していきます。

- ・ ジュニア検定が今年度から強制になったのはなぜか。任意に戻してほしい。
- ・ 駐車場をもっと確保してほしい。
- ・ 新しくプールが設置されないのは残念。

⇒いずれも燕市教育委員会の事業であるため、ご意見を燕市教育委員会に伝えます。

この他にも、「学校での活動が他学年と交流できて、とても楽しそうだ」「たくさんの先生方に声をかけていただき、ありがたい」「ホームページを毎回見ている」など、たくさんの励ましのお言葉もいただきました。励みになります。ありがとうございます。

様々な条件がある中で、学校にもできること・できないことがあります。子どもたちのより良い成長のために、職員と保護者の皆様が忌憚なく話し合える関係性が重要であると考えます。引き続き、気になることがありましたら、遠慮なく学校へお聞かせくださいますようお願いいたします。